

自分が変わるしかない

校長 武井 正明

人間関係で悩んだことのある人、今現在悩んでいる人、いますよね。

大人になってもこれが、いっぱいあるのです。皆さんのお家にも、職場の人間関係でお悩みの方もいらっしゃるかもしれません。

なんでそんな態度をとられなきゃならないのかなあ。俺が何か気に障るようなことでもしたのかなあ…。

でも大体そういう時、気に障るようなことをしているものなのですよ。多分…。ただ、これが本人は気づかない。親友同士だったり、夫婦だったりすると直接言ってくれるからありがたいのですが、なかなか直接言ってもらえることは、ない。

そして、相手の我慢の限界を越えて、「あなたねえ…」となる。

でも、言われた方は全く気付いていないから、いきなり、突然相手の怒りを買うことになるのです。

その度に、自分の鈍感さに、嫌気がさしてくるのです。時には、なんで言われなきゃならないんだよ、そっちにも頭に来てるんだよ、と怒りで返したくなることさえあります。

現在の自分には、校長室があります。だからまだいいです。皆さんの場合、これが教室であることが多いので、こういう時の苦しさは、その比ではありませんよね。

娘が言っていました。「ぼっち」は本当につらいよ…。

人って、なかなか変えられません。難しいものです。だから、自分が変わるしかないのです。なかなか直らない自分を直視して、直すべきところを直そうと努力する。

それでも人が離れて行ってしまう場合どうするか。

その時は諦めます。つらくて、苦しいけれど。

自分とは縁のない人だったのだ、と。そして時間が経って、急に思い出したように相手が近づいてきても、私は一定の距離以上は近づけません。孤独です。でもそういう時は、我慢、忍耐です。周囲に気を遣いすぎて調子を合わせる方が疲れます。長く感じるかもしれませんが、終わってみれば一時です。必ず時間が解決してくれます。

親友なんて簡単にはできないものです。

学生時代に親友ができない人もいます。

焦る必要はありません。人が嫌がることをせず、謙虚に、できるだけ笑顔で平らかな気持ちでいることを心掛けていれば、必ずあなたの傍に、気の合う、いい人が現れます。

ひとりで抱えないことです。あなたはひとりではありません。

もし誰もいない時は、勇気を出して校長室に来てください。いつでもお待ちしております。